

榊山神社だより

令和7年2月

41号

■ 年頭の挨拶

二月となりましたが改めましておめでとうございます。

氏子の皆様に於かれましては新しい年を迎え、心新たにお越しの事と存じます。昨年も神社の祭礼にしましては何事もなく終えることが出来ました。此れも皆様の協力・御指導があつて、為し得た事と感謝申し上げます。

昨年一月一日に起こった能登半島地震による災害、また九月の豪雨による災害で多くの方が今、尚避難所生活をされています。災害により失われた方のご冥福を祈ると共に以前の能登に戻ることを願います。此の地方では大きな災害もなく無事で居られる事に感謝するばかりです。

今年の干支は巳年です。巳年は蛇が鎌首を持ち上げる姿から「身が立つ」と言つて出世運があり、蛇が皮を脱ぐ事から復活、再生を表し、白い蛇は幸運をもたらし、金運も上がると言われています。良し事づくめの年です。ただ自分か

ら行動しないと良いことは巡つてこないのも何事にも行動を起こす事を心がけると良いと思います。最後になりますが、今年一年も昨年同様に榊山神社を宜しくお願い致します。



正月元日三時撮影

■ 御神木祭

本年六月六日中津川市でご神木祭が行われます。この行事は伊勢の神宮（日本の総氏神）の二十年に一回行われる※式年遷宮のお祭りで加子母、付知の山より神宮の神様の御神体を納める御用材を伐り出して六日から八日駆け岐阜県内を通り三重に運ぶ一大行事です。正式名称は「※御樋代木奉迎送」と言います。御神体を納める器を御

※第63回式年遷宮

樋代木と言ひ式年遷宮で作られ入れ替えるものとして一番重要なものです。この御用材は二百年以上前から木曽の山、裏木曽の山から人力、鉄道、川を利用して出されてきました。今ではトラックで運び出しています。裏木曽（加子母・付知）から出される木は姫路城・名古屋城などにも利用され良質の材として重宝されていますが其の中でも一番良いとされる大木を選んで伐りだされます。

二十年前は加子母村・付知町が主でしたので福岡町にはお立ち寄りしませんでした。が以降年は中津川市となった為、付知（護山神社・花街道）福岡（総合事務所）苗木（元起）中津川（駅前・にぎわいひろば）に立ち寄り、神事とイベント行事を行政の御神木実行委員会とタイアップして執り行います。二十年に一度しか行われない行事ですので多くの方にお迎えとお見送りに参加していただき、この地方が昔から森林文化であった事を知ってもらいたいと思います。

※御樋代木＝みひろぎ

予定 総合事務所前

六月六日十時集合

十一時お迎え

十二時半お見送り

参加お願いします

御神木祭

(2005年当時)



付知街中御木曳き風景



付知花街道
広場にて



■ 祭り

今回、祭りについて知って頂くべく文章を書いて見ました。

まずは「祭」と言う漢字ですが「神仏霊を敬う儀礼行為」で食物や物を祭壇に供えている状況を表した文字です。

神社でのお祭りは大祭中祭小祭と分類され榊山神社では夏祭りと大祭扱い、春祭り、秋祭り、元旦祭を中祭扱い、その他の祭りを小祭と分けて取扱をしております。小祭は関係者又は神職のみで扱う祭りとなり厄除け祈願祭、還暦報告祭、安産祈願祭、初宮健康祈願祭など含みます。大祭・中祭について四季の祭りとして来賓を招待して執り行っています。

外祭については、地鎮祭、安全祈願祭、竣工祭、家祈祷祭、〇〇祭など多くの祭りがありその際は神様をお呼びして神事を執り行います。



地鎮祭祭壇

特殊などころでは葬儀（通夜祭、葬祭、発柩祭、火葬祭）、御霊祭（五十日祭、一年祭、三年祭・・・）も祭りで亡くなった方を敬いお参りする行為です。

このように多くのお祭りが在りますが最近では「ふるさとまつり」「おいでん祭」「菓子まつり」など多様な使い方が増えてきているようです。祭りと言う本来の意味が変わって目に見えないものに感謝する心が失われてきているようです。

身近なところでの感謝を表す行為の祭りを一つ挙げれば家祈祷祭があります。家を新築、改築した際や年初めに家を祓い守護する神札を受ける神事です。家は人生で何度も購入したり、直したりする事が費用的に出来るものではありません。それだけに大切に扱います。アパート、マンション、貸し家ではあまり行われませんが、持ち家の方にとって、家は家族の平安などを守ってくれている存在で感謝する対象として行われます。日本では八百万の神がいると信じられ家の中にも多くの神様がいて平穏な日々が送られるのも家にいる神様のおかげと思う気持ちあれば豊かな生活を送ることが出来ると思います。

何か問題が起きたらお祓いをし

てもらったり、危ない事から運良く助かったりすると感謝をしたりしますが、ほんとうは、何もない毎日こそ護られているのであり、平穏無事な暮らしこそその結果なので、日々の「当たり前」に対し、「感謝と祈り」を忘れないような暮らし方をしたいものです。

祭りをを行う意味、意義を知って、失われてはならない日本人の大切な習慣としてこれからも絶えることなく守っていくよう願います。

■ これからの祭り

令和七年二月二十一日(金)

天神神社祭典

午後二時 来賓 区長 小学校校長
神社関係者

令和七年三月二日(日)

春祭り(祈念祭)

午後二時 来賓 市議 区長 区会
町内会長 神社
関係者

令和七年三月二十日(木)

戦没者慰霊祭

午前十時 遺族会

春季祖霊殿御霊祭

午後一時 永代供養親族

震災鎮魂祭

午後四時 区長 神社関係者

■ 巫女舞クラブ 舞姫募集

榊山神社(福岡)・常磐神社(高山)・田瀬神社(田瀬)・白山神社(下野)の祭りに神前の前で踊る児童・生徒を募集しています。



対象 令和七年四月時
小学校四年生

中学三年生までの女子

練習時間 週一回一時間程度
場所 榊山神社氏子会館
会費 3千円(一年)

昨年は境外活動として敬老会披露又、踊り以外にクリスマスパーティーを行いました。

連絡先 宮司宅 0573-72-2892

安産祈願、初宮詣、厄除け、車のお祓いの正式参拝の予約

お問合せ先 宮司 深谷 耕平

宅 0573-72-2892